



[令和 5 年 8 月 9 日 定例会発表要旨]

留萌沖三船殉難事件を忘れない

手稲郷土史研究会会員 鈴木清士

今年も間もなく 78 回目の終戦記念日を迎えようとしているが、終戦時に起きたこの事件について、関わった人びとの多くが鬼籍に入り、遺族も高齢化して忘れ去られようとしている。事件を風化させないためにも今回の研究発表では取り上げてみたい。



1 留萌沖三船殉難事件とは

太平洋戦争の終結から一週間を経た昭和 20(1945) 年 8 月 22 日、樺太(カラフト)からの避難民の引き揚げ船三隻が留萌沖で国籍不明の潜水艦に襲撃され、二隻が沈没、一隻が大破して 死者・行方不明者 1,700 余名が犠牲となった事件のことである。

2 遭難の三船の航路と遭難地点

小笠原丸 (1456 t 撃沈) 逓信省の海底ケーブル施設船

8 月 20 日大泊出航 1500 名乗船、途中稚内に寄港し 900 名下船、小樽港に向かう途中 22 日 4:22 増毛町別刈沖において潜水艦の雷撃を受けて沈没。641 名が死亡・行方不明。

第二新興丸 (2,651t 大破) 海軍の特設砲兼施設艦

8 月 21 日大泊出航、3600 名乗船、22 日小樽に向けて航海中 4:55 鬼鹿村沖で魚雷を受けて大破するも自力で留萌港に着岸、400 名が死亡・行方不明。

泰東丸 (877 t 撃沈) 東亜海運所属の小型貨物船

8 月 21 日大泊出航、780 名乗船して 22 日小樽に向けて航海中 9:50 鬼鹿村沖で潜水艦の砲撃を受けて沈没 667 名が死亡・行方不明。



小笠原丸



第二新興丸



泰東丸

3 何故このような事件が起きたのか

- ① ヤルタ会談での密約：昭和 20(1945) 年 2 月、米・英・ソの首脳により第二次大戦後の処理が話し合われ、その中でソ連の対日参戦が密約された。
- ② ソ連の北海道占領計画：8 月 24 日留萌上陸を目指して潜水艦を派遣、航行船舶への攻撃を命じた。樺太引揚三船はこの海域に還って襲撃された。22 日夜中止
- ③ 「終戦」対する日ソ間の認識の違い
 - ◆ 日本：ポツダム宣言受託をもって終戦（ソ連以外停戦）
 - ◆ ソ連：講和条約調印をもって終戦（戦闘中の民間船攻撃は可能との見解・ミズリー号の調印式欠席）



遭難三船の航路と沈没地点

4 ソ連軍の侵攻と本土送還

第二次世界大戦末期の昭和 20(1945) 年 8 月 9 日、ソ連は日ソ中立条約を破棄して宣戦布告し、樺太国境を越えて侵入してきた。樺太庁は高齢者、母子、病人などを優先的に本土に送還させることとし、大泊～稚内をピストン輸送をしていたが、稚内駅が混雑していたため、小樽港に向かった三船が遭難にあったのである。

5 ソ連の北海道侵攻計画

8月16日ソ連のスターリン首相は、北海道の北半分を占有する要求書簡をアメリカに送ったが、アメリカのトルーマン大統領は8月18日断固これを拒否した。それにもかかわらずスターリンは、留萌上陸の作戦を進めていたが、戦力の差を考えて8月22日夜作戦を断念した。



ソ連の要求地域

6 遭難当時の三船の状況

小笠原丸：夜明け前で、日本領に還って来た安心感から引揚者は、船室で熟睡していた。突然の雷撃により何が起きたのか考えるいとまもなく船と共に沈んでいった。

第二新興丸：一瞬の雷撃により大破したが、船室の隔壁により沈没を免れた。浮上して砲撃してきた潜水艦に大砲で反撃、潜水艦は海中へ逃避、自力で留萌港に着岸。

泰東丸：突然浮上してきた潜水艦が、砲撃を加えてきたので白旗を掲げて停船したが、なおも砲撃されて沈没、波間に漂う遭難者に対し機銃掃射行った。

7 遺骨・遺品の収集

小笠原丸：増毛町で雑貨店を営む村上高德さんは、私財を投げ打って昭和 26 (1951) 年から 2 年がかりで水深 100m 近くもある海底に沈む小笠原丸から、難行を重ねながら 314 の遺骨片を引き上げた。

泰東丸：厚生省からの依頼を受けた防衛庁は、大湊基地に所属する掃海艇 2 艇を現地に派遣して捜索に当たったが発見できなかった。昭和 56 (1981) 年に地元の漁船が鬼鹿港南西 16 キロの沖合いで、半分以上砂に埋もれた泰東丸らしき沈船を発見した。船内から船内時計、バッテリー、銃弾、茶碗などが引き上げられたが、遺骨については一片も発見されなかった。

8 殉難慰霊碑

小笠原丸遭難者殉難之碑
増毛町暑寒沢町営墓地



樺太引揚三船殉難平和の碑
留萌市黄金岬海のふるさと公園



三船殉難慰霊碑
小平町鬼鹿にしん文化歴史公園



9 殉難慰霊祭

毎年それぞれの地域で行われている。

10 発表

ビデオでドキュメンタリー映画「慟哭の証言」を1時間鑑賞後発表された。



今夏は全国各地で最高気温が 30 度を超える酷暑でした。特に札幌は、令和 5（2023）年 8 月 23 日に観測史上初となる 36.3 度を記録し、熱中症での救急搬送で救急車の数が足りない、という事態にもなりました。暑さによる命の危険と隣り合わせの状態に、毎年、扇風機で暑さをしのいでいた我が家では来年の夏に向けてクーラーをつけようか、という話が出ています。そのようなお家も多いのではないのでしょうか…。

8 月は手稲区内の町内会のお祭りが開催される地域が多く、4 年ぶりに通常開催されたところもありました。お祭りに訪れる人々で賑わう光景も多く見られ、子供たちをはじめ、地域にお住まいの人々が久々のお祭りを楽しまれたことと思います。

9 月も例年より気温が高い日が多いとのこと。熱中症も心配ですが、夏の疲れも出てくる頃だと思えます。お身体を大切に、皆様どうぞお気をつけてお過ごしください。



新川皇大神社にある馬頭大神の石碑(筆者撮影)



編集コラム

馬頭観音の石碑との再会

私が北海道工業大学（現・北海道科学大学）の学生だった頃、大学へ向かう途中に大きな馬頭観音の石碑がありました。石碑を見るたび、この地域で人とともに生きてきた馬や牛たちがいて、見守ってくれているような思いを持っていました。大学卒業後、久々に訪れると馬頭観音の石碑がなく、どこへ行ってしまったのかと気になっていました。ネットで調べると、北区の新川皇大神社へ移設されたことがわかり、訪ねてみました。

境内正面に向かって左に石碑が並ぶ場所があり、そこに馬頭大神と刻まれた石碑がありました。神主さんにお話を伺うと、お寺で管理していたため観音の名称だったのを平成 30（2018）年、神社移設の際に大神と名称を変えたとのこと。久々の再会に暫し安堵と懐かしさを感じました。（岡和田）



新川皇大神社(筆者撮影)

★前号 184 号「明治牧場について」の要旨にて、「令和 5 年 4 月現在の住宅戸数は 747 戸」となっていました。正しくは「令和 5 年 4 月現在の住宅戸数は 789 戸」とのことでした。

次回定例会 ⇒ 発表内容「手稲にとって手稲山とは何か」道尾淳子氏（北海道科学大学准教授 理学博士）
10 月 11 日（水）18：15～ / 手稲区民センター 3 階 視聴覚室 ※会員でない方のご参加は事前の申し込みが必要です。